

科名: 電気エネルギー制御科

訓練科目の区分		授業科目名	必須・選択	開講時期	単位	時間/週
教育訓練課程	専門課程	社会科学一般	必須	Ⅱ期・Ⅲ期	2	1
教科の区分	系基礎学科					
教科の科目	社会科学					
担当教員		内線電話番号	電子メールアドレス		教室・実習場	
授業科目に対応する業界・仕事・技術						
公務員試験、就職試験など						
授業科目の訓練目標						
授業科目の目標	No	授業科目のポイント				
経済理論を通じて、経済学と社会との関わり合いを学ぶ。注意、携帯電話の電源を切り、かばんにしまうこと。私語は厳禁である。	①	ミクロ経済学				
	②	需要と供給				
	③	価格統制				
	④	価格弾力性				
	⑤	マクロ経済とGDP				
	⑥	貨幣の機能				
	⑦	マクロ経済政策				
	⑧	インフレ・デフレと失業				
	⑨	経済成長と経済発展				
	⑩	国際経済学				

授業科目受講に向けた助言	
予備知識・技能技術	経済活動についての新聞記事に目を通しておくと講義が興味深いものとなる。
授業科目についての助言	経済の動きに合わせて講義内容を機動的に対応するので、計画通りに進まないことがあります。また、適時プリントを渡します。教科書は参考書として活用してください。経済数学とグラフを活用いたします。
教科書及び参考書(例)	参考書「入門 経済学(第4版)」伊藤 元重著、日本評論社、2015年 また、「経済学入門塾」、石川秀樹著。(株)中央経済社、のミクロ・マクロ編を参照(発行年月日は異なる)
授業科目の発展性	経済学のおもしろさを知って下さい。すると生活における経済の多面性が見えてきます。また、演習問題やグループでの発表をお願いします。退屈しない授業を考えています。積極的な参加をお願いします。

評価の割合(例)							
指標・評価割合	評価方法						
	試験	小テスト	レポート	制作物	成果発表	その他	合計
	80		10		10		100
評価割合	授業内容の理解度	80					
	技能・技術の習得度						
	コミュニケーション能力						
	プレゼンテーション能力						
	論理的な思考力、推論能力			10			
	取り組む姿勢・意欲					10	
	主体性・協調性						

回数	訓練の内容	運営方法	訓練課題 予習・復習
1週	経済学とはどんな学問か	講義	全体の概要、授業の進め方
2週	ミクロ経済 需要と供給	講義・演習	経済活動における需要と供給の意義について
3週	需要曲線と消費者行動	講義・演習	消費者行動について学習
4週	費用の構造と供給行動	講義	生産の側面から費用と供給の構造を考える。
5週	市場取引と資源配分	講義	市場における資源配分を考える。
6週	独占と競争の理論	講義	独占の意味と競争理論を考える。
7週	市場の失敗	講義・演習	完全市場はありうるのか。
8週	不可実性と不完全情報の世界	講義	情報の曖昧さについて考えてみる
9週	ゲームの理論入門	講義・演習	経済学におけるゲームの理論について考える。
10週	マクロ経済 GDPとは何か	講義	ミクロとマクロの違いについて考える。
11週	有効需要と乗数メカニズム	講義	乗数理論を考える。
12週	貨幣の機能	講義	貨幣の意義を考える。
13週	マクロ経済政策	講義	グローバル経済での経済政策について
14週	インフレ・デフレと失業	講義	インフレ・デフレと失業について考える。
15週	高齢社会の財政運営	講義・演習	「経済格差が問題だ」と言われるが、何が問題なのか考えてみる
16週	経済成長と経済発展	講義・演習	経済成長はどのような意味を持つのか。
17週	国際経済学	講義	経済政策におけるグローバル化を考える。
18週	本講義のまとめ	講義	本講義の総括をいたします。